



With You CellSeed Vol.17



創業25周年を迎えて一次の未来へ

2026年、株式会社セルシードは創業25周年という大きな節目を迎えます。これまでの歩みを支えてくださった株主の皆さま、パートナー企業、そして患者さまをはじめとするすべてのステークホルダーの皆さまに、心より感謝申し上げます。

私たちは「価値ある、革新的な再生医療をリードし、世界の医療に貢献します」というMissionのもと、再生医療という未踏の領域に挑戦し続けてきました。この25年間は、挑戦と変革の連続でしたが、その一つひとつが未来への確かな礎となっています。

現在は、

● 細胞シート再生医療事業 ● 細胞培養器材事業 ● 再生医療受託サービス事業

を軸に、技術の社会実装に向けた体制を強化しております。

2025年には、膝の痛み悩む患者さまの治療を目指す同種軟骨細胞シートの第3相臨床試験が本格的に開始となり、細胞シート再生医療の実用化に向けて大きな一歩を踏みだしました。細胞培養器材事業では、特に海外の販売が大きく成長し、再生医療受託サービス事業では、国内で企業や医療機関との連携を拡大しています。

再生医療は、今まさに世界中で大きな進化を遂げています。セルシードは、これまで培ってきた技術と知見をさらに深化させ、患者さまに新しい治療の選択肢を届けるため、研究開発と事業拡大に全力を尽くしてまいります。

創立25周年を機に、新たなMission「細胞の力で、世界に笑顔と希望を提供します」を掲げました。2026年は新たな成長戦略を加速させる年でもあります。再生医療のグローバル展開や再生医療受託サービス事業など、次の25年に向けた挑戦を本格化させ、再生医療の未来を切り拓いていきます。引き続き、皆さまのご支援とご期待を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長
橋本 せつ子

創立25周年を機に新しいミッション・ビジョンを掲げ
世界へ広がる再生医療のさらなる発展に貢献します

MISSION

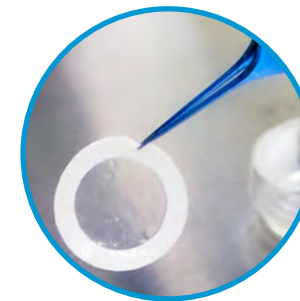
細胞の力で、世界に笑顔と希望を提供します

VISION

私たちは細胞シート工学を基盤に新たな医療の未来を創造します

私たちの事業

日本発の「細胞シート工学」を基盤技術とし、従来の治療では治癒できなかった疾患や障害を治す再生医療アプローチである「細胞シート再生医療」の世界普及を目指しています。



細胞シート
再生医療

> P.5



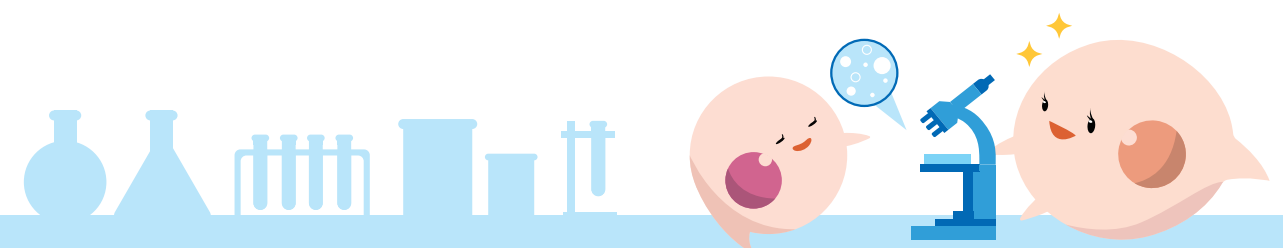
細胞培養器材

> P.7



再生医療受託
サービス

> P.9



2年に1度の フォーラム主催

「細胞シートの未来を語ろう!」をテーマに、2019年から計4回開催してきた「細胞シート工学イノベーションフォーラム」。北海道から沖縄まで、全国の研究者の皆さまにご参加いただいています。

第1回
2019年
7月

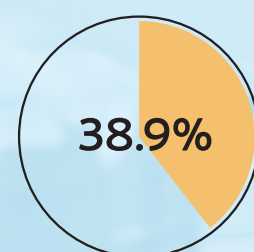
第2回
2021年
11月

第3回
2023年
11月

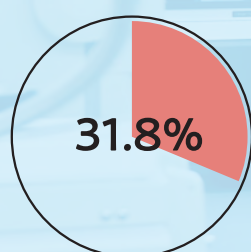
第4回
2025年
11月

数字とキーワードで 見るセルシート

25年間でつくりあげてきた成果や歴史を、
数字とキーワードで振り返ります。



女性社員の
比率

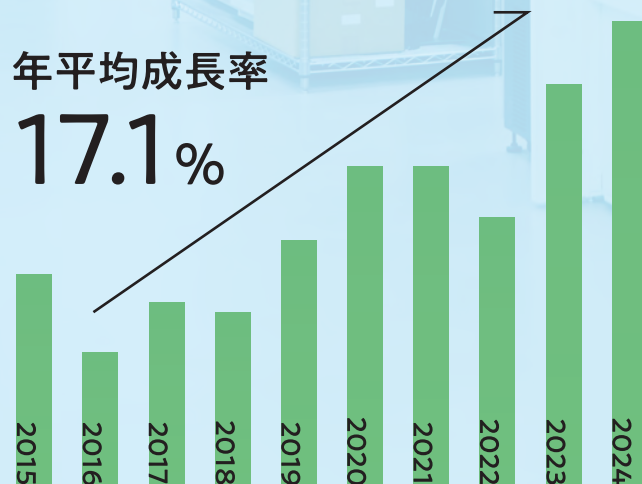


女性管理職の
比率

31.8%
が女性管理職

女性も活躍しやすい環境を整えているセルシード。全社員のうち約4割が女性で、女性管理職も3割を超えています。(※2026年1月時点)

3.5 倍に成長
年平均成長率
17.1%



細胞培養器材事業は2016年以降、海外での売上が大幅に増加。2016年と比べ、2024年度の売上は3.5倍まで成長しました。

「細胞シート工学イノベーションフォーラム」を通じて、特に若い研究者の皆さまに定期的なアイデアを発表していただき、再生医療や新たな分野への応用を模索しています。

日本発・世界初の
細胞シート工学を
多くの研究者へ

社員が語る “これまで”と“これから”

セルシートとともに歩み、未来を支える
社員からのメッセージをご紹介します。



C.S. 細胞シート事業部門長

大学病院の先生から依頼を受け、患者さまの治療のための細胞シートの製造や自社製品の開発に広く関わってきました。私たちは直接患者さまの声を聞くことが難しいですが、治療にあたる先生方から、患者さまの予後の経過が非常に良いことや「良い細胞シートを作ってくれてありがとう!」という言葉聞くたびに大きなやりがいを感じました。これからは少しでも早く細胞シートを製品化し、質の良い再生医療を患者さまに届けられるよう会社一丸となって、挑戦し続けていきます。

Y.K. 器材事業部門 器材開発部長

海外パートナーと長い時間をかけて開発してきた新製品を無事に海外へ納品できたこと、また大学の先生方やチームのメンバーと試行錯誤しながら、ニーズを満たす性能の開発品ができ、産学連携のプロジェクトを成功させられたことは大きな成果となりました。これからはチームのメンバーの他、社内で協力し合い、新しいアプリケーションの開発などを通じて、国内外問わずより多くのアカデミアや企業の皆さまの研究・社会実装を技術的に支援していきます。

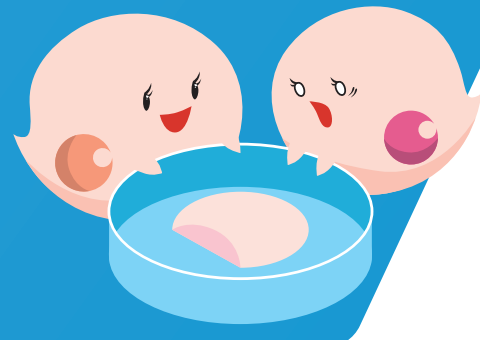


D.S. 開発戦略部門 事業開発部長

事業開発を通じて、製造委託と製造技術移転の業務に関わったことが印象に残っています。それぞれの契約先企業の多くの方と密に連携し、大きな成果を出せたことに喜びを感じました。これからの挑戦としては、自社で初めての再生医療等製品のローンチに尽力していきます。一般的に製造コストや生産効率、設備や技術者など、産業化の面で多くの課題がありますが、こうした課題もやりがいと受け止めて常に企業価値をブラッシュアップしていく企業でありたいです。

細胞シート再生医療

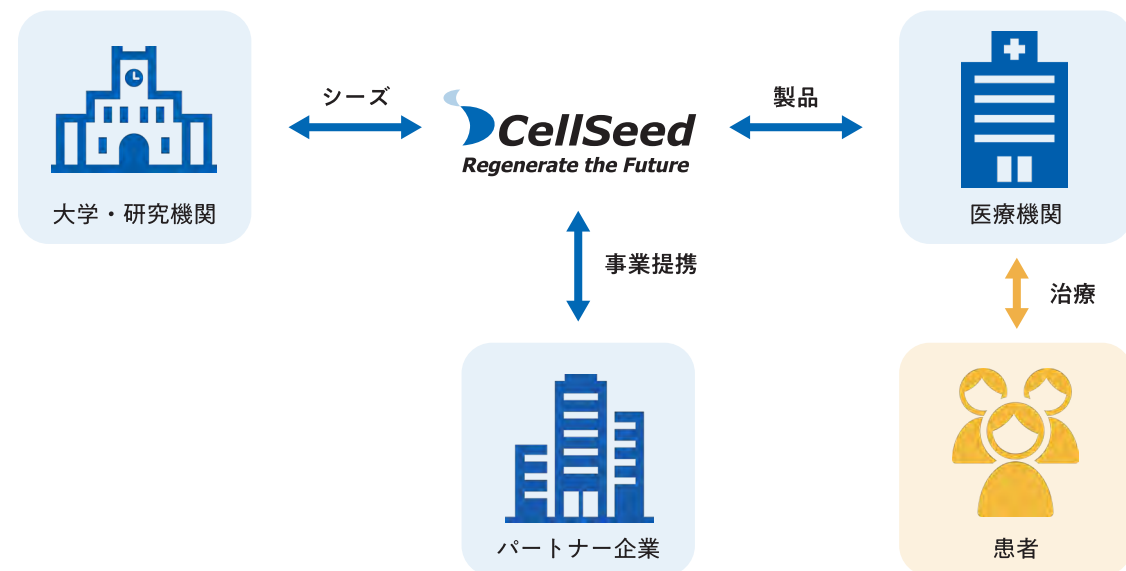
セルシードは、細胞シートを用いた「再生医療の事業化」に挑戦しています。現在はパイプラインとして、歩くと痛い変形性膝関節症を根本的に治す治療として同種軟骨細胞シートを開発しています。2023年9月に治験届を提出し、第3相試験を実施しています。



事業の特長

細胞シートを用いた「再生医療の事業化」

再生医療は、正常な機能を有する組織から採取した細胞を培養し、患者に移植することによって、組織修復と機能の再生を促します。再生医療によって患者のQuality of Life (QOL) の向上が大いに期待でき、これまで治療できなかった疾病を根治する可能性も高まっております。細胞シートとは、ヒトの細胞をシート状に培養して作製した薄い膜で、患部に貼ることで細胞や臓器の再生を図るものです。細胞シートは、生体内のさまざまな組織・臓器の細胞から作製することができ、現在、角膜・心筋・軟骨など様々な細胞シートの研究開発が進められています。



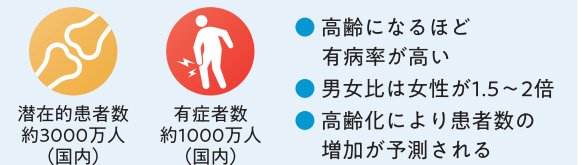
当社は細胞シート工学を活用しアカデミアと連携して、再生医療製品の研究開発に取り組んでいます。現在は同種軟骨細胞シートの早期事業化を進めています。

同種軟骨細胞シート

変形性膝関節症とは

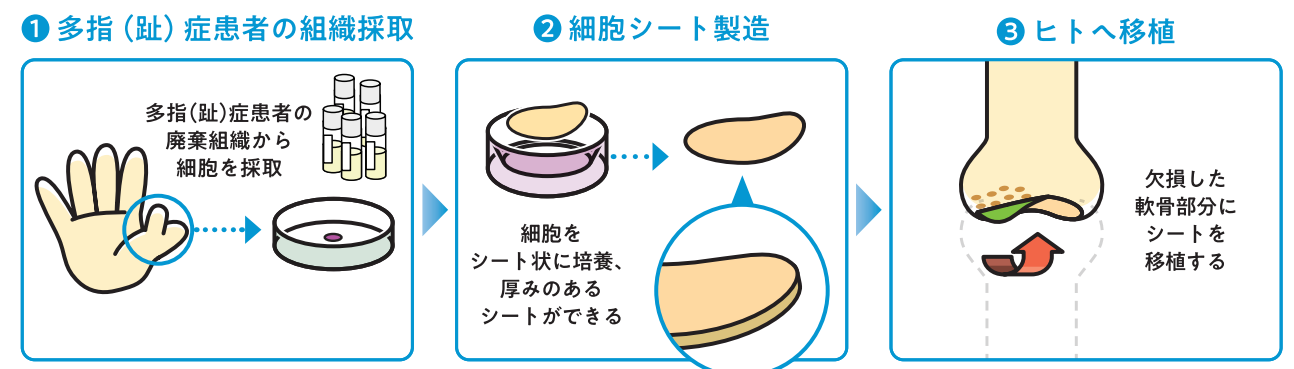
変形性膝関節症は加齢・肥満・遺伝などを原因として膝関節の軟骨表面が摩耗・変性し、膝に痛みを感じ、曲げ伸ばしが困難になる疾患です。変形性膝関節症の患者数は増加の一途を辿っていますが、軟骨は自己修復能力が非常に弱いことが知られており、根本的な治療法がありません。

変形性膝関節症は未だ根本治療がない



同種軟骨細胞シートの特徴

同種軟骨細胞シートは、多指(趾)症患者さまの手術で切除した余剰指(趾)から採取した軟骨細胞を原料としています。そのため患者さまご自身の組織を採取する手術が不要となり、負担が軽減されます。また、原料細胞を培養し増殖させてセルバンクを作ることで、一定の品質の製品を多くの患者さまへ提供することができます。



同種軟骨細胞シート開発

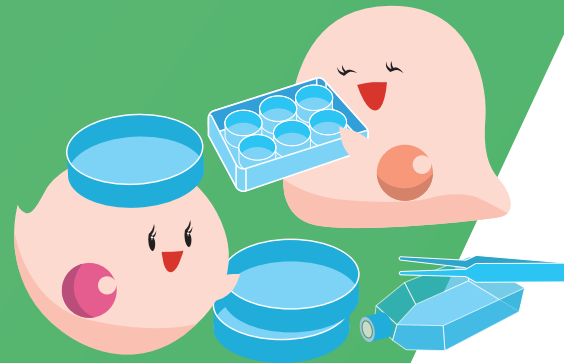
同種軟骨細胞シートは東海大学で開発されました。セルシードはその研究成果をもとに薬機法下での製造販売承認の取得に向けて開発を進めています。また、国立成育医療研究センターとの共同研究を経て、商業利用可能な組織を安定的に供給する体制を構築することにより、治験や上市後の製品製造に使用するセルバンクを作製しました。現在は2023年9月に治験届を提出し第3相試験を実施しています。



細胞シートによる再生医療を日本中、さらには世界中の患者さまに届けることを目指しています。

細胞培養器材

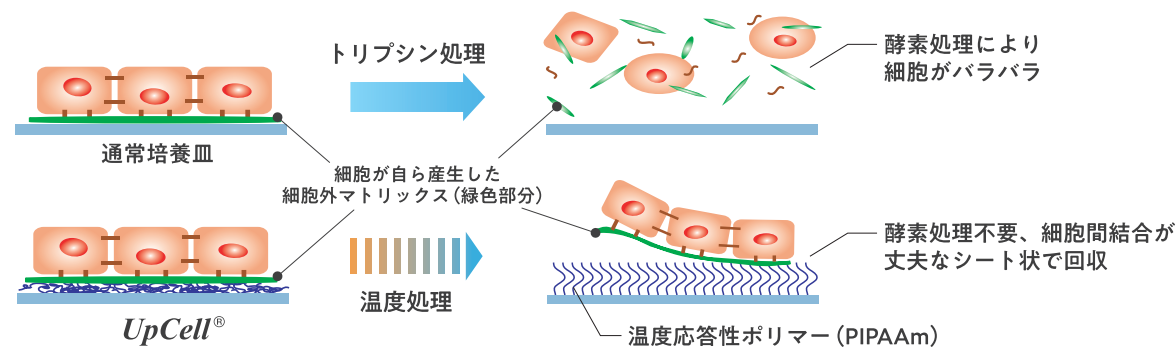
セルシードの細胞培養器材事業では、さまざまな細胞培養関連製品の開発を行っており、温度応答性培養器材*UpCell*®をキープロダクトとした製品を取り扱っています。また、近年細胞の大量回収のニーズが高まっており、このニーズにこたえるための新製品開発にも注力し、再生医療分野にとどまらない幅広い研究分野に向けた商品の提供を目指しています。



事業の特長

ニーズをとらえた豊富な器材を展開

セルシードが開発し世界中に販売する*UpCell*®は温度応答性ポリマーがナノメートルレベルで固定化された表面を持った細胞培養器材製品で、一般的に使用されるトリプシンなどの酵素処理を必要とせず、培地温度を変えるだけで培養細胞を回収することができ、さらに細胞と細胞の間にあるタンパク質を壊さないために細胞を一枚のシートとして回収する事を可能とした世界初の製品です。



温度応答性細胞培養器材

UpCell® / *RepCell*®

様々な製品タイプを展開し、細胞シートを用いた再生医療の基礎研究用途として世界中の研究者に数多く使用されています。

超低付着性細胞培養器材

HydroCell®

培養面に高親水性ポリマーを固定化することで細胞は浮遊状態が維持され、スフェロイドや胚様体などの形成を促進します。

全自動TEER測定システム

cellZscope™

細胞のバリア機能(タイトジャンクション)の形成や変化をリアルタイムでモニタリング。
自動測定によりデータの精度と信頼性が飛躍的に向上します。

製品ラインナップ



UpCell® シリーズ

培地温度を20℃～25℃にして10分～30分程度待つだけで、トリプシン等を使用せずに細胞を無傷な状態で回収可能。
細胞シートからシングルセルまで簡単に回収でき、回収した細胞は細胞外マトリックスを完全保持します。



UpCell® Flask

マクロファージや樹状細胞、間葉系間質細胞などをトリプシン処理無しで大量回収が可能です。



UpCell® Insert

共培養系で作製された細胞シートを回収することが可能です。



RepCell®

培養面にグリッド・ウォール加工処理された製品。シングルセルあるいはコロニー回収可能です。



HydroCell® Flask

マクロファージなどの浮遊培養、がん細胞やiPS細胞のスフェロイド形成が可能です。



cellZscope™ シリーズ

細胞層のタイトジャンクションを閉鎖系で全自動測定。
動物試験禁止の流れに対応し、in vitroでの皮膚腐食性代替評価法として製薬会社、化粧品会社に数多く導入され、候補化合物の毒性、ADME評価に高い再現性で利用されています。

UpCell® ADVANCE*1

再生医療・細胞治療等製品の開発用として数々の品質管理項目をクリアし高い品質が担保された製品で、一部の再生医療等製品において採用されています。
2022年12月、米国食品医薬品局 (FDA) のメディカルデバイスマスターファイル (Master File for Devices*2*3) に登録されました。



*1 *UpCell*® ADVANCEは、使用目的を研究用途に限定したカタログ掲載品の「*UpCell*®」と区別し、製造ロット毎に各種安全性試験データを付与した製品です。

*2 MAF制度とは、供給メーカーが、企業情報・製造ノウハウ等の企業秘密や各種データをあらかじめFDAにMAFとして登録しておく制度です。

*3 MAF登録完了は、FDAによる品質および安全性に関する確認または評価が完了したことを必ずしも意味するものではありません。

再生医療受託サービス

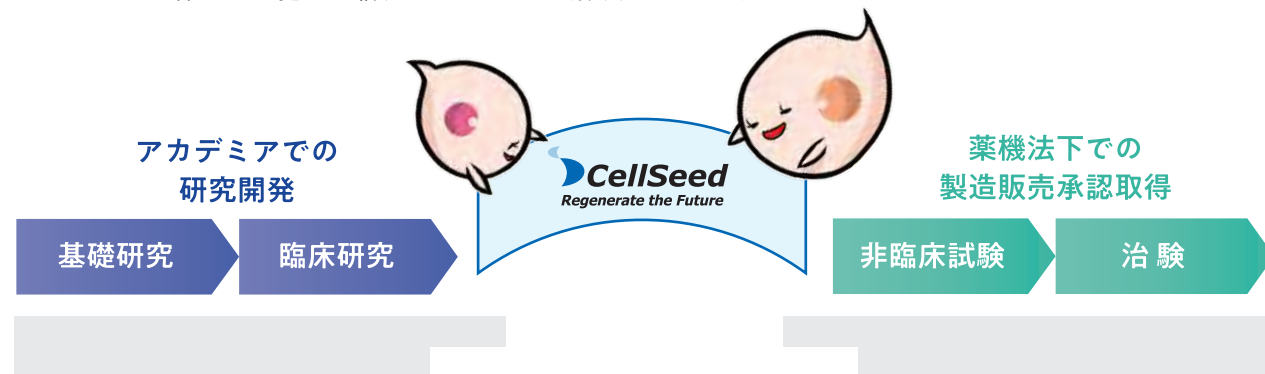
セルシードは、特定細胞加工物製造許可（2017年3月）および再生医療等製品製造業許可（2018年10月）を取得した細胞培養センターを有しており、再生医療製品の開発・製造受託機関（CDMO）としての各種サービスを提供しております。これからも経験豊富なスタッフによる、安全で高品質な製品やサービスを提供いたします。



事業の特長

お客さまが抱える課題、ギャップの解決

大学・研究機関等のシーズを臨床応用する際、課題やギャップに直面する事例が多くあります。この一つの要因が、臨床研究と再生医療等製品としての製造販売承認取得のために実施される医師主導治験や企業治験では、規制する法律が異なることです。セルシードは、再生医療等製品の開発経験、様々な受託実績をもとに、お客さまが抱える課題やギャップを解決いたします。



提供するサービス

再生医療等製品の製法開発・製造受託（CDMO）

▶ 各種対応サービス



当社は、経済産業省が業界団体「再生医療イノベーションフォーラム」の協力のもとに作成した「再生医療等製品CDMO企業リスト」に掲載されております。

CDMO企業リスト/再生医療イノベーションフォーラム URL:<https://firm.or.jp/cdmof/>

特定細胞加工物の製造受託・コンサルティング

▶ 各種対応サービス



行政手続支援

特定細胞加工物の製造



細胞培養技術者教育



細胞シート剥離
トレーニング

主な実績

	受託製品	用途	細胞種	適応症
製造受託	細胞シート	臨床研究	自己/口腔粘膜上皮細胞	先天性食道閉鎖症術後の小児対象
	細胞シート	医師主導治験	同種/歯根膜由来間葉系幹細胞	歯周組織再生
	細胞シート	先進医療B	自己/軟骨細胞	変形性膝関節症
申請支援	細胞シート	自由診療	自己/軟骨細胞	変形性膝関節症
申請支援	細胞シート	自由診療	自己/口腔粘膜上皮細胞	食道内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)後の狭窄抑制・防止、および難治性食道狭窄症

自由診療申請支援

セルシードは、医療機関が実施する再生医療等提供計画関連書類の作成など自由診療の開始に必要な手続きの支援を行いました。

医療法人社団 松和会 池上総合病院 [変形性膝関節症に対する自己軟骨細胞シート移植]

詳細はこちら <https://ikegami Hosp.jp/wp/wp-content/uploads/saiseiryoku.pdf?v2>



地方独立行政法人東京都立病院機構 東京都立多摩北部医療センター

[食道狭窄抑制を目的とした自己口腔粘膜上皮細胞シート移植]

詳細はこちら https://www.tmh.jp/tamahoku/section/department/digestive_surgery/main-equipment.html



会 社 名	株式会社セルシード (CellSeed Inc.)
主 な 事 業 内 容	細胞シート再生医療事業 再生医療支援事業
本 社 所 在 地	東京都江東区青海2-5-10 テレコムセンタービル東棟 15F
電 話 番 号	03-6380-7490 (代表)
代 表 者	橋本 せつ子
設 立	2001年5月
決 算 月	12月
資 本 金	2,152百万円
従 業 員 数	36名 (女性比率38.9%)
上 場 市 場	東京証券取引所グロース市場 (7776)
R & D	細胞培養センター 東京都江東区青海2-5-10 テレコムセンタービル東棟 6F
細胞培養器材 事業拠点	青海セルカルチャー イノベーションセンター 東京都江東区青海2-4-32 タイム24ビル



新交通「ゆりかもめ」テレコムセンター駅 (テレコムセンタービル西棟に直結)
※2階にて西棟より東棟へ移動の上、15階へお越し下さい。(15階で西棟より東棟へは渡れません)

コーポレートサイト

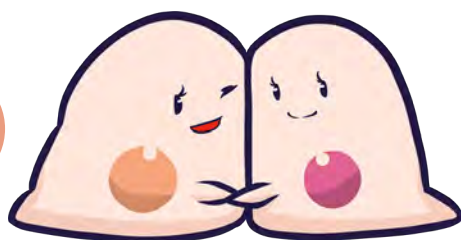


YouTube チャンネル



セルシードから生まれた細胞界のアイドルをご紹介します！

せるん



しどまる

再生医療とみんなの健康の応援団長。天然キャラ。
頑張り過ぎてドジを踏むのはご愛嬌。

せるんの弟分。自由奔放なムードメーカー役。
真似っこやいたずらが大好き。

さいぼうちゃん™

さいぼうちゃんは、キミのからだの中にいます。
キミが気付いてくれるのを、ずっと待っていました。

LINE スタンプ発売中！



細胞シート工学イノベーションフォーラム

2025年11月、日本科学未来館にて「第4回 細胞シート工学イノベーションフォーラム」を開催しました。当日は、アカデミアの研究者の方々はもちろん、医療機関や企業の皆さまにも幅広くご参加いただき、会場は終始あたたかな熱気に包まれました。招待講演の質疑応答だけでなく、ポスターセッションや懇親会でも、細胞シート工学の現在地とこれからの可能性について、分野を超えた活発な意見交換が行われ、参加者同士が新しい発見や視点を共有する、充実した時間となりました。次回のフォーラムは2027年に開催予定です。

これからも、細胞シート工学を通じて人と人がつながり、学び合える、心地よい場づくりを続けてまいります。